

☆☆☆☆☆☆☆☆ 7月10日(土) キューバ友好フォーラム開催 ☆☆☆☆☆☆☆

革命前からキューバのジャーナリストとして約60年!
フィデルとともに歩んだ、歴史の生き証人
ルイス・バエスさんにきく



ルイス・バエス・エルナンデス
Luis Báez Hernández

キューバの 過去・現在・未来

日時 7月10日(土)14:00~17:00 (13:30 開場)

会場 パルシステム連合会 新大塚分室 2階
大会議室

東京都文京区大塚 5-9-2 新大塚プラザビル
地下鉄丸の内線 「新大塚駅」徒歩1分
●当日連絡先 080-1108-9517 (岩瀬)



参加費 1000円 ★キューバ友好円卓会議会員 500円

主催 キューバ友好円卓会議
<http://cubaentaku.web.fc2.com/>

★入会 (年会費 3000円)、カンパ随時受付中
※住所・氏名・電話・メールアドレスを明記の上、下記にご入金ください。

郵便振替 00100-9-499950
加入者名: キューバ友好円卓会議

問合せ先 キューバ友好円卓会議
〒157-0073 東京都世田谷区砧 8-15-14-101
FAX 03-3415-9292

1936年11月24日ハバナ生まれ。資本主義時代にスポーツ記者として仕事を始める。59年1月1日、「アバンセ」紙編集の担当時からフィデル・カストロ関連情報の報道を開始。フィデルのベネズエラ訪問(59年1月)時の取材ジャーナリスト・グループに入り、4月~5月のフィデルの米国・カナダ・アルゼンチン・ブラジル・ウルグアイ訪問に同行する。6月、「レボルシオン」紙で仕事を開始。プラヤ・ヒロン米軍侵攻時は戦場特派員として「レボルシオン」と「ボヘミア」誌に出来事を報道。キューバ・ジャーナリスト同盟(UPEC)を創立(63)。「グランマ」紙創設者(65~67)。「フventウ・レベルデ」紙(67~70)、「ボヘミア」(70~80)、「レビスタ・クーバ・インテルナシオナル」(78~80)、「プレンサ・ラティーナ」(80~2005)で働く。1994年、プレンサ・ラティーナ通信社からホセ・マルティ国際賞を授与される。UPECの「7・26コンクール」でジャーナリズム賞を何度も受賞。フィデル・カストロ議長の主要な外国訪問に同行。ルポルタージュ、インタビューなど著書多数。フィデル・カストロと面談した世界の著名人とのインタビューも多い。ローマ法王のキューバ訪問(98)を前にバチカンで法王に迎えられた。マクシモ・ゴメス将軍マチェテ・レプリカ賞(94)、フェリクス・エルムサ賞、プラヤ・ヒロン勲章を初め数々の賞を受賞。「研ぎすまされたペン、鷲の視点」(ラウル・ロア氏)と評されている。